

あづみ会会員の皆様へ

感謝と敬意

2025 年 10 月吉日

拝啓

秋涼の候、皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、平成 9 年に「すみれ親の会」を前身として発足した、あさかホスピタル家族会「あづみ会」が閉会を迎えることとなりました。

発足以来、「助け合い」「学び合い」「働きかけ」という三つの柱を大切に、多くのご家族が集い、それぞれの思いを語り、励まし合いながら歩んでこられた長い歴史に、心より感謝と敬意を申し上げます。

この間、社会の状況や家族のカタチも大きく変化してきました。少子高齢化や核家族化、働き方の多様化などにより、ご家族が担う役割は以前にも増して大きなものとなっています。ご本人の病いと向き合う日々の中で、孤独や不安を抱えながらも、互いに寄り添い、励まし合ってこられたご家族の思いが、あづみ会の活動を支えてきたのだと思います。

精神科医療・保健・福祉において、ご家族の存在は今後も変わることなく、大切な支えであり続けます。あづみ会が築いてこられた活動の意義は今後の地域医療及び保健福祉のあり方にとっても大きな示唆を与えるものです。

また、家族支援の重要性も一層高まっています。早期にご家族が、病気や治療、そして社会復帰に向けた制度や資源等について、正しい知識と方法を学ぶことが重要となります。ご家族がその入口に立つためにも、私たち専門職がご本人ご家族にとって安心できる目配り、気配り、心配りが大事であることをご家族とのかかわりの中で学ばせていただきました。当グループのクレド（志）である、“こころの声に耳を澄まそう”に通じるものです。

これまでの「あづみ会」の歩みを真摯に受け止め、これからもご家族の声に耳を傾けながら、ご本人が望むパーソナルリカバリーと豊かな暮らしを実現するために、ご家族と手を携えて取り組んでまいります。

改めまして、これまでのご尽力とご協力に深く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

敬具

社会医療法人あさかホスピタル

理事長 佐久間 啓

院長 水野 雅文

職員一同